

●接続詞とは？

- ・自立語で活用がない
- ・前後の文や文節、単語を接続する
- ・主語、述語、修飾語にはならない

●接続詞の種類

①順接……………前の事柄が、原因や理由になる。

(例) だから・そこで・すると・したがって など

●雨が降ってきた。そこで、体育祭は中止となった。

●熱が出た。だから、ぼくは欠席した。

②逆接……………前のことと逆の結果があとにくる。

(例) しかし・ところが・でも・けれども など

●雨が降ってきた。しかし、体育祭は続けられた。

●わたしは泳げない。だけど、海には行きたい。

③並立・添加……………対等の事柄を並べたり、前の事柄につけ加えたりする。

(例) そして・それから・また・そのうえ など

●雨が降ってきた。しかも、風までふいてきた。

●枕草子まくらそうしおよび徒然草つれづれぐさは三大随筆である。

④説明・補足……………前の事柄をあとで説明する、あるいは、言いかえる。

(例) つまり・すなわち・ただし・なぜなら など

●体言とは、つまり名詞と代名詞のことだ。

⑤対比・選択……………前後の事柄を比べたり、選んだりする。

(例) または・あるいは・もしくは・それとも など

●わたしは、犬またはねこを飼いたい。

⑥転換……………前の事柄から、話題を変える。

(例) ときに・ところで・さて・それでは など

●久しぶりだね。ところで、みんな元気ですか。